



# 北稲門会報

第31号  
早稲田大学

題字:第13代総長 小山宙丸先生

[編集・発行]早稲田大学校友会 北稲門会

[発行所]〒114-0002 東京都北区王子4-22-9 越野建設(株)内

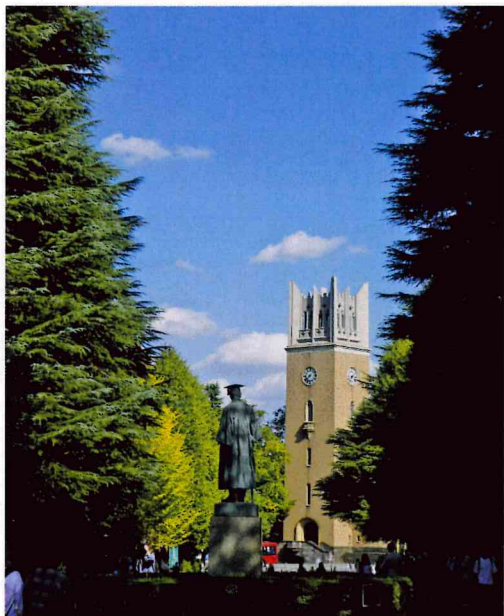
北稲門会事務局 TEL.03-3913-4511 HP:<http://www.kita-toumonkai.com/>

## 集り散じて



賑わう早稲田大学正門周辺

## 北稲門会の今



大隈公銅像と大隈講堂



坪内博士記念演劇博物館(正面)と  
国際文学館(村上春樹ライブラリー(右))

# ご挨拶

北稲門会会長 田内 秀昭



## 設立三十周年

北稲門会会員の皆様、こんにちは。いかがお過ごしでございますか。北稲門会は昨年設立三十周年という一つの節目の年を送りました。誠に喜ばしいことでございます。北稲門会を立ち上げ今日まで導いていただいた諸先輩にあらためて敬意と感謝の気持ちを表明いたします。なお、北稲門会設立の経緯ならびにこれまでの歩みにつきましては昨年十一月十一日発行の本会報誌第三十号に特集記事として掲載してございます。三十年を一つの節目として、これまでの北稲門会の歴史に自負と誇りを持って、一歩一歩着実に新たな時代に向かって活動の幅を広げていきたいと決意を新たにいたしました。

## 一年間の活動報告

迎えた三十一年目の本年は、東京都二十三区支部稲門会の一員として、三多摩支部との合同会、二十三区支部総会ならびに北稲門会が属している第二ブロック(中野・新宿・豊島・練馬・板橋・文京・千代田)各稲門会総会等

への出席相互交流。また、地方稲門会組織との交流事業として、新潟市稲門会総会出席、秋田竿燈まつり見学・秋田稲門会との懇親、栃木ツアー・宇都宮稲門会総会後の講演・懇親会参加交流等を行いました。

北稲門会独自の活動としては、三大事業である「新年会」「総会」ならびに「講演会」が開催され、特に講演会は北稲門会設立三十周年記念講演会として開催されたことにより、開催記事が早稲田大学校友会発行の「早稲田学報」(二〇二四年四月号・通巻二二六四号)に一ページ全面にわたって掲載されました。部会活動につきましては、まだ完全復活には至っておりませんが、この会報が発行される頃には「カラオケ部会」が復活を果し、「ゴルフ部会」も復活に向けて進んでいると聞いております。その他、同好会としてスポーツ観戦・応援、若手スイーツの会等のイベントが行われました。

また本年は北区域の他大学(明治・慶應・立教・法政・学習院)校友組織との交流事業が活発化しました。これまでも、北区域民まつりへの協同参加を通して交流を続けてまいりましたが、本年は明治大学校友会北区域域支部主催の「青梅きもの博物館」見学会が各大学参加により開催され、慶應との間では、北稲門会・北区三田会交流納涼ビアパーティーが開催されました。

## 本号の会報

会員の皆様はすでにお気付きのことと思いますが、本号は、これまでの誌

面構成とは若干異なっております。会員の投稿記事中心の誌面構成から北稲門会の各行事・イベント等の日常活動の「今」の動きを多く伝える誌面構成とし、写真を組み入れることにより、映像記録保存という役割も果たすことになりました。

## 役員の一部改選

本年は役員改選期ではありませんが、期中で二名の退任申し出があり、この七月に開催されました総会において、四名の役員の嘱任・退任の承認をいただきました。あわせて、不在であった副幹事長に二名嘱任いたしました(新役員名簿参照)。現役員の任期二〇二六年七月まで頑張りたいと存じます。

## 大学支援

母校早稲田大学は田中愛治総長が二期目を迎え、早稲田大学の長期的な改革ステージである「Waseda Vision 150 and Beyond」においても着実に歩みを進めており、学生一人ひとりが輝き、二〇四〇年には日本でも最も、二〇五〇年までにはアジアで最も学ぶ価値のある大学だと世界中の人に思っていたらける大学になることを目指すことを表明されております。我が北稲門会の本年の大学支援は、二〇二二年度より募集を開始した「早稲田大学応援基金」に協力致しました。今後も明日の早稲田大学のために大学・校友会を支援し続けていきたいと考えています。

結びに、北稲門会会員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

<b>早稲田大学校友会</b>																														
<b>北稲門会新役員</b>																														
(二〇二四年七月現在)																														
会長	田内 秀昭	副会長	石川 英夫	近藤 宏	越野 允博	百武 秀男	鄭 英模	水野 浩治	江中 桃子	斎藤 朋美	平野 喜和	片山 郁夫	小宮山庄一	梶村 政博	横田美代子	林 靖昭	大塚 浩二	佐野 彰一	加藤 雄三	萩原 秀夫	古田しのぶ	松村 讓裕	金沢 幸彦	高橋 雄太	戸枝 大幸	石井 洋介	伊藤 蔵人	木下未来里	北 雷次	浅井 碩信
	北区赤羽西		北区赤羽南	北区滝野川	北区王子	北区上中里	北区王子	北区十条台	北区王子	横浜市港北区	北区西が丘	北区赤羽台	北区堀船	北区赤羽西	北区豊島	北区滝野川	北区田端	北区神谷	北区田端	北区田端	北区東十条	北区中里	北区田端	北区岩淵町	北区田端	横浜市鶴見区	北区西ヶ原	北区岸町	北区志茂	北区滝野川



**越野建設株式会社**  
代表取締役社長 越野 充博 (57年商)  
北区王子4-22-9 TEL 03-3913-4511(代)

楽器対応賃貸国内シェアナンバーワン!



自宅で楽器演奏を満喫できる賃貸住宅

**音楽マンション**

WEBはこちらから



# 北稲門会

## 「設立30周年記念講演会」開催

2023年11月11日、北稲門会設立30周年記念イベントとして、域外の校友会からのご来賓を招待して北区・王子の「北とぴあ」にて、講演会を開催しました。講演会では、葛西順一 早稲田大学スポーツ科学部教授・応援部長(2024年2月現在)を講演者としてお招きして、「私と早稲田大学」というテーマでお話をいただきました。大隈重

信と早稲田四尊\*を中心に、早稲田スポーツの今昔や、応援部のことなどユーモアを交え語っていたいただき、参加者一同、学びを深めました。加えて話は野球、ラグビー、駅伝にまで広がりました。

本記念イベントでは講演会と懇親会が実施されましたが、やまだ加奈子北区長にもご出席を賜り、一同で北稲門会30年の歩



葛西順一スポーツ科学部教授・応援部長(2024年2月現在)による講演会



記念講演会後の集合写真

みを振り返り、今後の活動にも思いをはせることができました。北稲門会は、早稲田で学んだ卒業生が地域の中で世代を超えて集まり、親睦・絆を深める目的で、1994年4月に設立されました。設立総会は北区出身の第13代早大総長、小宇宙丸先生をお迎えして、110余人の参加者が集い、リーガロイヤルホテル早稲田(当時)で盛大に行われました。また、小淵恵三氏(元総理大臣)には、総会に度重なるご出席を賜り、当会の草創期からの発展にご尽力をいただきました。2004年より、地域に貢献する目的で、毎年10月「北区民まつり」に参加。早稲田大学漫画研究会現役学生による似顔絵コーナーを出店し、人気を博しています。現在は、田内秀昭会長と水野浩治幹事長を中心に早稲田大学および早稲田大学校友会を支援し、他地域の稲門会との交流も含め活動を展開しています。

懇親会は、早稲田大学応援部のリードで校歌や『紺碧の空』などを大合唱して、大いに盛り上がりました。併せて、本イベントでは当会設立30周年記念号の『北稲門会報・第30号(保存版)』を配布して出席者のご高覧に供しました。

\*早稲田四尊：早稲田大学建学の祖 大隈重信、また小野梓を支えて大学の基盤を築いた「市村謙吉、高田早苗、坪内逍遙、天野為之」

(斎藤朋美 記 / 江中桃子 協力)

**出席者(地域外)** 早稲田大学三浦総務部長、新潟市稲門会小林会長、東京都23区支部金森支部長、板橋稲門会朝倉会長、新宿稲門会佐野会長 / 竹内幹事長、豊島稲門会石川会長、中野稲門会高田会長 / 笹田幹事長、文京稲門会筆谷会長、練馬稲門会片岡副会長、千代田稲門会南雲副会長、北区三田会高木会長 / 矢嶋副会長、明治大学校友会北区地域支部大関支部長



✉ info@kita-toumonkai.com  
web http://www.kita-toumonkai.com/

※ 昨年の設立30周年記念講演会の記事が「早稲田学報」2024年4月号に掲載されました。

# 北稲門会一年間の活動報告

## 【スイーツの会】

2023年8月29日(月)、11月27日(月)  
早稲田大学校友サロン

ジュネーブ稲門会・村田洋一さんによる、スイスチョコとお酒を愉しむ会が開催されました。



当日はジュネーブでしか購入できない「マルミット」をはじめ、スイスの5トップブランドのチョコレートがテーブルに並びました。ジュネーブで毎年12月に冬の一大イベントとして「エスカラード祭」が開催されます。

フランスのサヴォア公がジュネーブ支配を目的に夜襲をしかけた時のこと。敵兵がエスカラード(梯子)をかけて城を攻めてきた際に、おばあさんが上からぐつぐつ煮え立ったスープ鍋をひっくり返して撃退したという逸話があります。独立を勝ち取った歴史的な日を祝うお祭りです。

以来、スープ鍋をかたどったチョコレートがお祭りの名物としてこの時期に売られるようになりました。こうしたスイス限定のチョコレートやお酒を愉しみ、とても楽しい会となりました。

## 【早慶ラグビー100回記念大会】

2023年11月23日(木・祝)  
新国立競技場・目利きの銀次(新宿区)

早慶ラグビー100回記念大会観戦会が秋晴れの天候に恵まれ、新国立競技場に開催されました。23区支部主催イベントで、北稲門会からは6名の参加でしたが、試合観戦は全体で約300名、終了後の懇親会は約50名の参加となりました。

1899年、日本ラグビーは英語講師のE・Bクラークや田中銀之助の指導により、慶應で始まりました。1918年早稲田でも初代主将の井上成意のもと蹴球部が創設されました。

1906年の早慶野球応援トラブル以来、両校のスポーツ交流が途絶えていた中、現役員やOBが奔走し、1922年11月23日に初の定期戦が開かれました。東京で最も雨の少ない日ということで毎年11月23日に開催されることになりました。



以来戦争による中断なども経て100回目となる今回は、試合前から両校校友の注目の中間催されしました。

## 【新年会】

2024年1月27日(土)  
和奏酒「集こ」

今回はいつもと少し雰囲気の違うライブスペースでの開催。おでんを囲みながら新年の抱負、自身の近況や学生時代の思い出話をアットホームに語り合いました。後半



は恒例のビンゴゲーム。また会員の金沢幸彦さんによる「人生劇場」のパフォーマンスが披露されました。「人生劇場」は早稲田大学の第二校歌とも言われ、長く歌い続けられてきた歌。先日逝去された第14代総長・奥島孝康先生も生前各稲門会の席上で歌われ、いつも角帽をかぶり、台詞入りで5番まで歌われたそうです。金沢さんも長い台詞や歌詞を覚えるのに一苦労したそうですが、無事に歌い上げられていました。続く二次会では会員の画家・パブロ賢次さんがよく行かれる東十条のジャズバー「フラーワ」で演奏や地元のアートな気分

達と交流を深め、ちよつとアートな気分

## 【栃木ツアー】

2024年2月2日(金)〜3日(土)  
栃木県日光市・宇都宮市ほか、ニューイタルホテル

栃木の地酒を応援する酒々楽大使をされている会員の松井美智子さんの企画・手配で栃木ツアーが開催されました。

初日、日光からの参加組は東照宮等参拝観光し、夕方から参加組と宇都宮で合流。宇都宮二大餃子の一つ「みんみん」の餃子を味わいました。また夜はジャズバー「インダールドリーム」で生演奏を聴きながら、美味しいお食事やカクテルを愉しみました。宇都宮はジャズの巨匠・渡



辺貞夫さんの故郷で、ジャズの街でもあるそうです。

2日目は大谷石の採掘場である「大谷資料館」、竹林が綺麗な「若竹の杜」を散策後、宇都宮市内に戻り、他の餃子の食べ比べをすると同時に、有志メンバーで宇都宮稲門会総会後の講演会・懇親会(ニューイタルホテル)に参加いたしました。コロナ禍により5年振りに開催された総会後の講演会では、下野新聞社社長・若菜栄晴氏講演「新聞社の志」を伺いました。北稲門会から5名の参加で、大歓迎いただいた懇親会となりました。

## 【東京23区支部記念講演会 懇親会】

2024年3月10日(日)  
リーガロイヤルホテル東京・ロイヤルホール

一部は川淵三郎元Jリーグチェアマン及び田中愛治総長の講演会でした。

川淵氏の講演は以前開催予定だったものがコロナ禍で中止となり、今回改めて「夢があるから強くなれる」と題し、開催されました。続く田中総長の講演は「人々と社会に貢献する学生を育てる早稲田」と題した内容。世界トップレベルの研究力を目指す「国際卓越研究大学」に向けた再申請、2022年に設置された「カーボンニュートラル社会研究教育センター」の取り組み等、「研究の早稲田」へ向け気合のこもった講演でした。

二部の懇親会は、ニューオリンズホットストーンパズによる演奏、応援部指揮により校歌等が披露されました。所属稲門会だけでなく、他区稲門会の方との交流が進み、田中総長



や萬代校友会代表幹事を囲み、あちこちで記念撮影が行われていました。北区からは10名、総勢約300名以上が出席する盛会となりました。

**【三島鰻・水族館見学ツアー】**  
2024年5月11日(土)  
静岡県三島市「桜家」沼津市・深海魚水族館



兼ねてより三島市にゆかりのある田内秀昭会長の発案で、鰻の老舗店「桜家」に行きました。鰻料理が有名な三島の中でも行列の出来る人気店。入店し、鰻重が出て来るまでの間、日本酒等を楽しみました。鰻が美味しかったのは勿論のこと、近くを流れる源兵衛川がとても綺麗で、こうした水の綺麗な街だからこそ鰻料理が美味しいのが分かる気がしました。

その後沼津に移動し、「沼津港深海水族館」を見学しました。日本で唯一の深海に特化した水族館で、水深200Mより深い海に住む魚達や駿河湾を中心とした常時100種類以上の深海生物が展示されています。最後に地元のお寿司屋さんで新鮮な沼津港のお寿司やお刺身をいただき、充実の一日となりました。

**【第31回定時総会・懇親会】**  
2024年7月14日(日)  
北区王子・北とびあ

総会では田内秀昭会長による挨拶から始まり、2023年度事業報告及び2024年度事業計画について水野浩治幹事長から説明がありました。続いて同じく決算報告

と予算については梶村政博会計幹事から、新役員体制については田内秀昭会長から説明があり、いずれも承認されました。ご来賓の23区地域担当課長・矢作卓也氏より「早稲田大学の近況」について報告があり、2024稲門祭企画本部長・石塚順子氏からは稲門祭についてのアピールがありました。懇親会ではパブプロ賢次氏によるサククス演奏、恒例の金沢幸彦氏による「人生劇場」や阿部司氏による校歌斉唱もあり、大盛況のうちに終了しました。



**【秋田竿燈まつり・男鹿半島ツアー】**  
2024年8月3日(土)～4日(日)  
秋田県秋田市男鹿半島

昨年の大曲花火競技会に続き、今年は竿燈まつりに行って来ました。参加者は9名。東京と秋田で活躍されている会員の松村譲裕さんのご手配により実現しました。初日は秋田酒類製造(株)の蔵を見学。夕方より秋田稲門会の佐野元彦会長を囲んでの懇親会が開かれました。佐野会長は創業220年を超える老舗薬局の代表で、秋田の美味しい地酒を飲みながらお話を伺い、交流を深めました。その後の竿燈まつりでは、特別に街を見渡せる特等席か



を渡せる特等席か

ら観覧させていただきました。秋田竿燈まつりは、長い竹竿にたくさん提灯を吊るした「竿燈」を、「差し手」と呼ばれる腕自慢たちが手のひら、額、肩、腰に乗せ、絶妙なバランスで操る伝統的なお祭りです。夏の夜空に一齐に立ち上がる竿燈は一同息を呑む美しさでした。2日目は男鹿半島へ。なまはげ館を見学後、入道崎でなかなか食べられないという鯛の石焼定食に舌鼓を打ちました。どれも初めてづくしの経験でした。その後寒風山や大潟村干拓博物館を散策・見学し、帰路に着きました。昨年の大曲花火とはまた一味違った思い出深い2日間になりました。

**【北区区民まつり・似顔絵ブース出店】**  
2024年10月5日(土)～6日(日)  
北区王子・飛鳥山公園



北区区民まつりの初日は昼前から雨となり、出足が伸び悩みましたが、早大漫画研究会の学生の奮闘、会員の方々の声かけにより、2日間で来訪120名弱の結果となりました。中には似顔絵を大変気に入り、「今度は別の学生さんにも描いて欲しい」「横向きポーズで描いて欲しい」等リピートされているお客さんもいました。皆さん似顔絵に大変満足いただき、笑顔で帰られました。また今回は新会員募集の案内も作成し、積極的に勧誘したところ、「卒業生です」「息子が早稲田です」等足を止めて聞いてくださる方も多く見受けられました。隣の法政大学や明治大学OB等、六大学の交流も深められた2日間でした。

(江中桃子)

**(株) 日本農林社**  
代表取締役 近藤 宏 (44年教)  
北区滝野川6-6-5 TEL 03-3916-3341(代)

**鷹の羽運輸株式会社**  
代表取締役 高橋 雄太 (平成元年理工)  
本社/北区岩淵町39-28 TEL 03-3902-2019

創業1923年 王冠・キャップ製造販売  
**株式会社 宝冠**  
代表取締役 野部 浩 (43年理工)  
北区豊島1-39-8 TEL 03-3911-3986

**TEIリーガル・オフィス**  
Legal Concierge 司法書士 マンション管理士  
てい えい も 鄭 英 模 (46年政経)  
北区王子3-19-11-1002 エステ・スクエア王子  
TEL 03-3927-8131(代) FAX 03-3927-8133  
E-mail: teione3@acc.ocn.ne.jp

# 他大学校友会との交流

## 「小澤酒造」

### 青梅きもの博物館「見学会」

二〇二四年四月六日(土)に、明治大学校友会北区地域支部主催のもと、東京都青梅市にある小澤酒造と青梅きもの博物館を見学しました。

このイベントは、毎年十月に開催される北区区民まつりにおける北区域の他大学(明治・慶應・立教・法政・学習院)校友組織との交流が契機となり、企画されました。当日は、明治、慶應、立教、早稲田(四校)から二十四名が参加しました。

まず、小澤酒造で二班に分かれて、蔵を見学。日本酒ができるまでの工程、杜氏さんの想いを知ることができ、年に一度、秋に行われる澤乃井の蔵開きの話に、興味津々でした。説明後には小澤ガーデンにて夏季限定酒やおつまみをいただきました。川沿いを散策し、お土産に日本酒を買うなど、ほろ酔い気分ながら満喫しました。



私はその後、小澤酒造から季節限定酒や筍の奈良漬などを取り寄せては楽しんでいます。次に、青梅きもの博物館へ移動。こちらは東京都青梅市の自然豊

かな環境の中にあり、皇室や江戸時代の貴重な衣装(着物)を数多く展示しています。この企画は、館長が明治



大学OBでいらつしやるご縁で実現しました。常設展示のほか、特別展示では皇族の着物を館長にご案内いただき、興味深く拝見しました。季節柄、お雛様をテーマとする展示があり、女性陣に大人気でした。日本の伝統美と心に触れる心地よい経験でした。

こちらのコンセプトは、伝統ある日本の着物を、文化として伝える博物館。貴重な宮廷衣装や江戸時代の大名、武士、商人などが実際に着用していた着物約五百点を収蔵していると伺いました。特別展示は年に数回、テーマが変わり、開館は週末のみ、閉館している期間もあるため、見学を希望される際には事前確認が必要です。

見学後は、博物館の中庭で懇親会が開催されました。ちょうど中庭の前の桜の山が見頃で、絶好のお花見日和でした。ご準備いただいた明治大学校友会の皆様に感謝しつつ、お酒も進み、これからの六大学交流イベント等についても話すことができ、有意義な会となりました。実際、江中副幹事長はこの見学会後、三田会との合同イベントを企画・実施に繋げてくださいました。印象的だったのは、他の大学も若手の勧誘と会の活性化に苦慮しているという共通の悩みを実感したことです。明治大学OG

で二十代の方から、偶然、友人と北区区民まつりに遊びに行き、ブースで明治大学校友会を知り、入会されたと伺いました。同年代の方は居なくても、いろいろなイベントがあり、出られる時に参加して楽しんでいるそうです。まずは存在を認識してもらうことが肝要、と参考にした話でした。

また、見学会に参加したことで、自然豊かな青梅の魅力に気づく機会を得て、当日付いてくださったガイドの男性が発信されるSNS等で青梅のイベントをチェックしては、再訪を目論んでいます。(斎藤朋美)



## 三田会交流パーティー

校友会のイベントへの参加は参加メンバーとの繋がりが拡がり、より深まっていく良さ面がある。その一助ともなる、納涼ビアパーティー、慶應三田会との交流会が二〇二四年七月二十七日、土曜日の夕方、高田馬場「コットンクラブ」(サウンドステラス)で開催されました。

三田会とは毎年十月に、王子飛鳥山で行われる「ふるさと北区区民まつり」で、協同のイベントブースを北区区内に校友会支部を有する六大学と共に構え、地域に貢献、好評を得ています。長年の良きライバル校と、さらなる懇親を深めましょう!と企画しての納涼会は、まずは早稲田の本拠地、高田馬場での開催となりました。北稲門会田内会長、三田会高木会長他、十月二十日実施の稲門祭本部からの特別ゲ

ストとして石塚順子さんも加わり、早慶合わせで十八人の参加(他参加者は後述参照)。当日は隅田川花火の日でもあり、新宿の夜景と共に遠くに花火の輪が臨めるルーフトップバーでの開催予定でしたが、小雨模様によつて急遽、室内ホールでの宴に変更されました。それでも美味バーベキューや洋風オードブルを囲みながらの呑み放題メニューで、話題も様々豊富に展開しました。



主な話題は、●早稲田の地にあつて慶應にはおそろくは無い、学生街の食文化、●早稲田の三大油田、とは何か?牛めし「三品食堂」とラーメン「メルシー」の魅力について、●早稲田中学・高校の卒業後、大学は慶應に行きました!という三田会OBの本気の気持ちとは、●甲子園、昨年の慶應義塾、今年の早実の活躍等、早慶スポーツについて、等々。最後は「早稲田の栄光」「若き血」の合唱、楽しい宴の夕べになりました。

次回は、三田に乗り込みます。今後も他大学・他地区との交流も深め、楽しいイベントの実施を予定していますのでぜひ、みなさま気軽にご参加をいただければと思います。(当日参加者:稲門会:田内秀昭、浅井碩信、百武秀男、吉田富康、江中桃子、安達真司、佐藤真美、福居貴子、坪川雅彦、三田会:高木雅章、伊澤利和、海老原成敏、櫻井右一、杉田守正、矢嶋彰、山中理恵子、北美恵子、敬称略、順不同)(坪川雅彦)

# 会員投稿コーナー

## ジャズに歌い、サンバに踊る音楽人生



皆様、はじめまして。

ジャズ&ボサノバシンガーのENIKO VOICEです。ライブやイベントでパフォーマンスをしたり、ボーカルレツスを行う活動をしています。四年前、越野建設さんの音楽マンションに入居したことがきっかけで、今回の入会につながり、ご縁に感謝しています。北区は文化レベルが高く、非常に居心地の良い場所です。

音楽との出会いは幼少期で、NHK東京放送児童合唱団に所属し、テレビやラジオに出演していました。ジャズに目覚めたのは大学三年のとき、ニューヨークで、かつて共演した歌のお姉さんがハーレムで歌う姿に感動したのがきっかけです。その後、エラ・フィッツジェラルドに憧れてジャズに深く傾倒しました。

一度は大手企業に就職しましたが、二年で退職し、アメリカのバークリー音楽大学に奨学金を得て留学。ピアニストの上原ひろみさんなど、今では世界的に活躍するクラスメイトと共に学んだ経験は、非常に刺激的でした。

卒業後はニューヨークでジャズシンガーとして活動し、二〇〇三年末に帰国。ボサノバユニット「メロコラソン」として日本でメジャーデビューを果たし、現在はソロやグループなど様々な形で日本や海外でライブ活動をしています。

YouTubeでは「スキヤット番長」というシリーズを展開し、ニッチな分野ながらジャズボーカル界では知られています。人がまだやっていないことに挑戦することが好きで、開拓者精神が私の元気の源かもしれません。

普段から様々なライブを行っています。十二月十八日(水)には渋谷「JZ BRAT」でバースデースペシャルライブを開催します。稲門会の皆様にもぜひお越しいただき、会場を満杯にしたいだけだったら嬉しいですよ。よろしくお願ひします！

ENIKO VOICE

### 受賞歴

- 第2回さいたま新都心ジャズボーカルコンテスト グランプリ受賞
- 吉祥寺音楽祭吉音コンテスト グランプリ受賞
- 第5回神戸ジャズボーカルクイーンコンテスト 準グランプリ受賞

### 主な活動歴(プロジェクト)

- ピアニスト・スガダイローとの「Phase DUO」(2005~2012、2023~再開)
- ギタリスト・助川太郎とのブラジル音楽ユニット「メロコラソン」(2003~)
- ピアニスト・佐藤浩一との和JAZZ「Carta~手紙~」(2017~2018)
- フィリップ・ストレンジ、ピアニトリオとの王道JAZZ「Blackberry Dreams」(2019~)
- トレス・パッサリーニョス ~ボサノバコーラス~「Vento」(2019~)
- ピアノ弾き語りSOLO「PIANO VOICE」(2020~)
- Gracelily Sisters ~ジャズコーラス~「Bella Swing」(2022)
- 阿部篤志p・太田恵資vnとの即興的ジャズ「Standard Trio」(2020~)

## 不二山を描く

富士山は唯一無二の霊峰として古来より信仰の山として人々に親しまれ恐れられて来た。

多くの画家が「富士」に挑戦して来た。北斎、大観、梅原、林毅それぞれ巨匠と言われている。「富士」を描く事は即その作家の力量が評価されることでもある。プロの画家にとつて勇氣がいるし、怖い事である。当然較べられる。

コロナ禍でヨーロッパに行けなくなり、しかたなく国内風景を描くようになった。以前から時折、描いていた「富士」に挑戦してみようと自然に考える様になった。姉の別荘が上野原にあったので、山梨側の富士を描くようになった。足かけ五、六年は描いていた。どう言う訳か「納得」のいく富士がなかなかできなかった。

自分なりに考えてみた。先ず「富士山」が大き過ぎるのだ。

ちょうど、横綱に挑戦する序の口の様な感じだ。河口湖や山中湖に行った人は解ると思う。私は負けたと思った。この大きさは並の画家では表現できない。又、富士山は裾野が長大で山頂部分はほんの少いで中腹部にボリュームがある。全望を描こうとしても「絵」にならない。したがってほとんどの画家が「デフォルメ」をしている。いわゆる素人には「富士山」は描けない所以である。

私は六年ほど前に、富士の大作(四〇号ぐらい)を頼まれた事があった。日本画、洋画、写真集等、全て調べてみた。その結果、解つた事は、皆、中腹部分に苦勞していた、多くは雲で隠しているのに気付いた。一流の画家でもそういうものが多い。絵画とは「空間」「ボリューム」を描く事である。それゆえ色彩は自由で良いのである。「富士」を描く難しさは中腹の「ボリューム」

「体積・容積」が描けない事にある。

一、二年前の事である。私の後援会長のN氏が東京駅前に靴を磨きに来た。私は富士山に苦闘していると話してみた。「君、富士山と言うのは太平洋側から見た富士を富士と言うのだよ。それは昔から決まっている」と言われた。私はハツとした。私は翌週末、車で箱根の大観山に行く事にした。洪水で着いた時は午後遅く、あいにく富士はガスで見えなかった。ともかく、イーゼルを立て描き始めた。構図を決め、色を置いてみる。ちなみに、私は下描きや写真とかはとらない。直接キャンパスに描いていく。私の哲学は「絵とは目に見えないものを描く」ことにある。

すると突然、空が晴れ、富士の全体がくつきりと現れ、雲がたなびき絶景の富士が出現した。私は夢中で描き始めた。何処からとなく声が聴こえて来た。「パブロ君、だいぶ苦勞したね。そろそろ私を好きな様に描いても良いヨ」何となく女性の声の様な気がした。その日のうちに、一五号、一〇号の絵を描いた。二点とも売却できた。私としては、開眼の記念に一点は手元に置いておきたかった。

パブロ賢次(赤平健二)



## 新会員紹介

## EMIKO VOICE

東京都日野市出身 一九九六年教育学部卒業

卒業後、米国バークリー音大でジャズを学び、現在はジャズ&ボサノバシンガーとして日本や海外で活動しています。

## 堀井栄一さん

東京都千代田区出身 一九七一年政治経済学部卒業

神田生まれで、大学の佐竹ゼミ(統計学)で学んだことが、会社での先物やオプションの草創期に役立ちました。趣味はカラオケ、詩吟です。

## 長谷川晶一さん

東京都杉並区出身 一九九四年商学部卒業

大学時代からライターとして活動し、卒業後は出版社で編集者に。二〇〇三年に独立し、現在はノンフィクションライターです。

## 小林廣之さん

東京都北区神谷出身 二〇一一年人間科学部卒業

祖父の学んだ早稲田大学に学ぶことができたことがよろこび。現在保護司、人権擁護委員をつとめています。

## 玉瀬理枝さん

埼玉県熊谷市出身 一九九八年人間科学部卒業

学生時代は女子サッカー部。スポーツで北区をもっと居心地の良い街に！と奮闘中です。

## 村田洋一さん

神奈川県横浜市出身 一九八四年政治経済学部卒業

邦銀に二十年勤務後、スイスで富裕層向けの資産運用ビジネスに従事。趣味はスポーツ観戦、音楽鑑賞。

## 入江久夫さん

埼玉県出身 二〇〇二年商学部卒業

二〇〇五年から北区役所に勤務、直近では、教育委員会事務局、しごと連携担当室を経て、現在は政策経営部です。趣味は野球観戦。

## 新入会員勧誘のお願い

早稲田大学卒業生で、北区在住または北区に関係・関心がある方は歓迎です。お知り合いの方がいましたら、ぜひ入会のお誘いをお願いします！  
年会費は3,000円です。

## 【主な活動】

1月に新年会、7月に総会、11月に講演会を開催しています。

その他、近隣地域稲門会との交流で箱根駅伝応援会や花火大会への参加、23区支部としてラグビー観戦会等へ参加できます。

新潟市稲門会、秋田稲門会(大曲花火大会・竿燈祭り見学)、宇都宮稲門会との交流会も開催されています。

## ◆北稲門会事務局◆

越野建設(株)内 Tel:03-3913-4511  
E-mail:info@kita-toumonkai.com

詳細は公式HPをご覧ください。

<http://www.kita-toumonkai.com>



## 編集後記

石川英夫副会長から会報作成・編集の任を引き継ぎました。教えて頂くことが多く、感謝申し上げます。今後もアドバイスをお願いします。今回の会報は江中桃子さん、斎藤朋美さんの絶大な協力で発行に漕ぎつけました。

“今”の表現にはもっと知恵と経験が必要でした。 片山郁夫

会報編集委員募集  
会報作成に興味のある方、  
編集に携わりたい方募集中